

令和2年度に実施した 主な事業

新型コロナウイルス感染防止対策関連

特別定額給付金事業	17億 8,216万円
緊急経済対策費	4億 5,609万円
児童生徒1人1台端末整備事業	1億 4,751万円
トイレ洋式化、手洗い自動水酸化	3,326万円
臨時特別給付金事業 (子育て世帯・ひとり親家庭等)	2,651万円



なかの応援商品券の販売

総務費

新庁舎整備事業	8億 9,562万円
---------	------------



行政サービス庁舎開庁

民生費

障害者等自立支援給付事業	4億 5,034万円
保育園運営事業	3億 7,641万円
児童手当等支給事業	2億 4,249万円
福祉医療費支給事業	1億 2,053万円

農林水産費

団体営土地改良事業費	2億 4,719万円
県営土地改良事業	8,175万円

土木費

道路橋りょう新設改良事業	2億 3,422万円
除雪事業	1億 2,979万円

教育費

図書館統合整備事業	4,627万円
-----------	---------

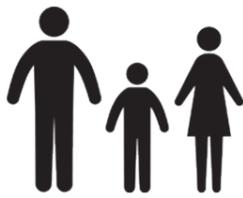
上下水道事業費

老朽管更新事業(水道事業会計)	3億 6,218万円
-----------------	------------

令和2年度 一般会計

町民1人あたりに換算すると?

- ▶ 支出額 74万円
(一般会計の支出総額130億2,406万円÷人口)
- ▶ 貯金額 37万円
(一般会計基金65億5,981万円÷人口)
- ▶ 借金額 70万円
(一般会計負債123億5,518万円÷人口)



※ R3.3.31時点の住民基本台帳の登録人口17,526人で計算

特別会計・事業会計 特定の収入と支出で経理を行う会計

特別会計名	歳入	歳出
後期高齢者医療	2億 5,596万円	2億 5,593万円
介護保険	23億 6,102万円	23億 4,601万円
国民健康保険	18億 9,433万円	18億 7,313万円
分譲宅地造成事業	1,265万円	12万円
ケーブルテレビ事業	1億 3,070万円	1億 3,062万円
水道事業会計	歳入	歳出
収益的収支	4億 6,589万円	4億 5,528万円
資本的収支	2億 7,430万円	5億 409万円
下水道事業会計	歳入	歳出
収益的収支	14億 7,291万円	16億 2,756万円
資本的収支	8億 2,687万円	12億 5,386万円

基金・地方債

町の貯金と借金

基金	令和2年度末残高
一般会計	65億 5,981万円
(財政調整基金)	51億 1,991万円
(減債基金)	1,069万円
(その他特定目的基金)	14億 2,921万円
介護保険特別会計	2億 2,655万円
国民健康保険特別会計	5億 173万円
基金合計(貯金)	72億 8,809万円
地方債	令和2年度末残高
一般会計	123億 5,518万円
水道事業会計	31億 3,351万円
下水道事業会計	97億 6,179万円
地方債合計(借金)	252億 5,048万円

財政用語解説

- **歳入**
入ってきたお金
- **歳出**
使ったお金
- **地方交付税**
町の財政状況に応じて国から交付されるお金
- **繰入金**
基金を取り崩して収入するお金
- **町債**
町が借り入れるお金

町税の内訳

町税種別	歳入
町民税	7億 5,637万円
固定資産税	8億 9,576万円
軽自動車税	5,456万円
町たばこ税	7,914万円
合計	17億 8,583万円



令和2年度 中能登町

決算報告

決算は皆さまから納めていただいた税金や、国・県からの補助金がいくら入ってきて、どのように使ったかをまとめた「町の家計簿」です。令和2年度の決算をお知らせします。

総務課(総務庁舎) ☎ 74 - 2802

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国の補助金等を活用し、感染防止対策事業として公共施設のトイレ洋式化、手洗い自動水酸化や顔認証非接触型体温計の購入等を実施し、緊急経済対策として応援商品券交付、プレミアム商品券販売、事業者への各種助成金事業を実施したほか、児童生徒1人1台端末整備事業として小中学校にタブレット端末を導入しました。

また町民の皆さまの関心が高かった新庁舎整備事業として、旧鹿西中学校の改修工事を実施し、令和3年2月より

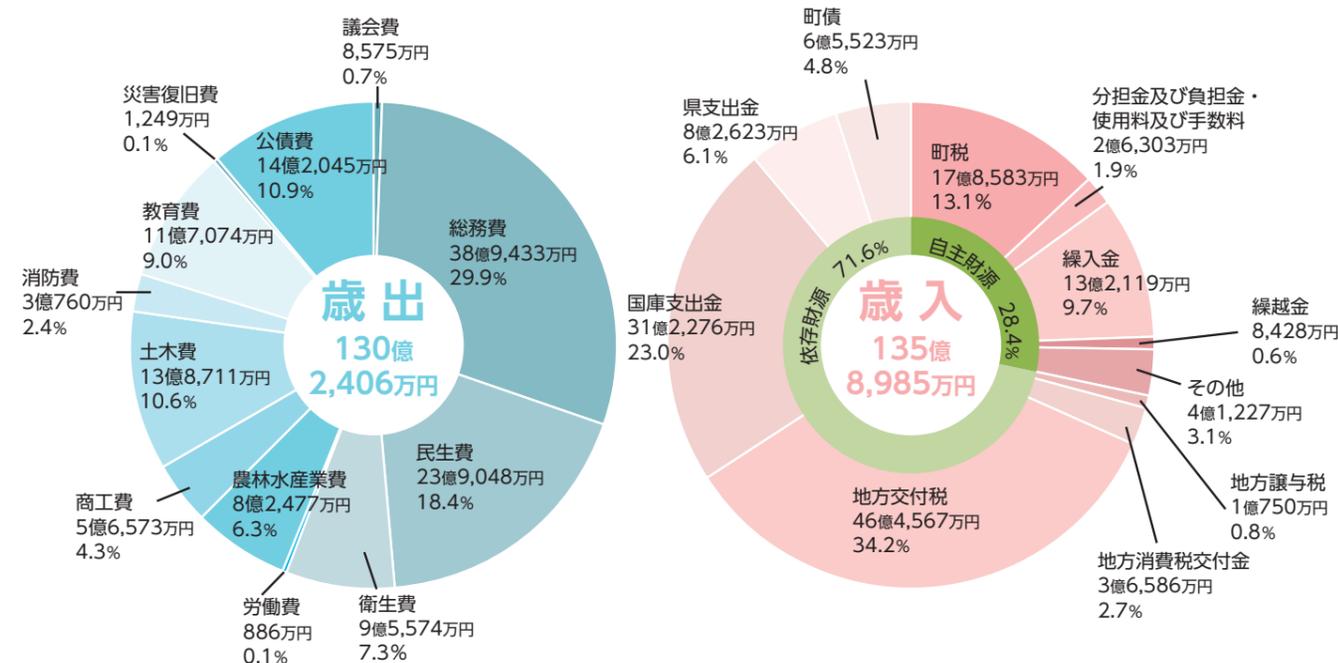
行政サービス庁舎として開庁しました。そのほか、基盤整備事業として、道路改良工事や水道管の耐震化事業を継続して行いました。

地方財政を取り巻く状況は依然厳しいものがありますが、国県の補助金や有利な町債を活用し、将来世代に負担を残さないよう知恵を出し合い行財政改革の推進による行財政コストの抑制を図り、財政基盤の安定化を進めてまいりたいと思います。町民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

一般会計

福祉や道路整備など町の行政運営の基本的な経費を計上した会計

令和2年度の一般会計の歳入は135億8,985万円、歳出は130億2,406万円でした。差引残高は5億6,579万円となりますが、そのうち5,979万円は翌年度へ繰り越すべき財源となりますので、5億600万円が実質収支となります。



財政健全化判断比率

5つの指標から財政状況を判断

財政状況を表す5つの指標

5つの指標すべてにおいて、国の定める基準を超える数値はなく、財政状況は健全な状態にあると言えます。

比率名	健全化判断比率		早期健全化基準
	令和元年度	令和2年度	
実質赤字比率	赤字額なし	赤字額なし	14.17%
連結実質赤字比率	赤字額なし	赤字額なし	19.17%
実質公債費比率	12.6%	11.3%	25.0%
将来負担比率	70.2%	39.7%	350.0%
資金不足比率	不足なし	不足なし	-

- ▶ **実質赤字比率**
一般会計に赤字がどのくらいあるのかを表す指標
- ▶ **連結実質赤字比率**
すべての会計で赤字がどのくらいあるのかを表す指標
- ▶ **実質公債費比率**
すべての会計で借金返済にあてる経費がどのくらいあるのかを、3年間の平均値で表す指標
- ▶ **将来負担比率**
すべての会計で将来負担が見込まれる経費がどのくらいあるのかを表す指標
- ▶ **資金不足比率**
すべての公営企業会計で資金不足がどのくらいあるのかを表す指標